

J **apanese text**

2013年 秋/冬号 日本語編

アート

文＝工藤素太郎、オオスキトモコ、宮本ゆみ子、
編集部

p.122

作品から捉え直す「昭和」
横尾忠則の「昭和 NIPPON」－反復・連鎖・転移

グラフィックデザイナーから美術家に転身し、衰えぬ創作意欲で膨大な作品を作り続ける横尾忠則。この展覧会は、横尾忠則が生きてきた「昭和」がテーマ。グラフィックからアートワークまで、新作も含めた横尾の作品を集めている。彼の作品はひとつでは完結せず、イメージの反復、連鎖、転移により、全ての作品が歴史的連続性を持つ。昭和時代に横尾は、青森県出身の劇作家・寺山修司が主宰した劇団「天井桟敷」のアートディレクションを務めていた。天井桟敷のパフォーマンスが持っていた青森の土着性は、横尾作品の土着性と共鳴している。横尾忠則が昭和という時代に描いたさまざまな「日本」から、「次の世代に何を投げかけているか」をいま改めて考えてみては？（オオスキトモコ）

9月7日～11月4日
青森県立美術館 B1F 常設全展示室
青森市安田字近野 185
www.aomori-museum.jp/en

2014年1月25日～3月30日
横尾忠則現代美術館（兵庫県）
www.ytmoca.jp

（写真）
万博ふんすい（日本万博の美しい会場より）1967年
国立国際美術館蔵

花嫁 1966年
東京都現代美術館蔵

いにしへの京都の名所を再現
特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」

信長や秀吉、家康による天下統一が進んだ戦国末期から江戸時代初期。この展覧会では、その時代の京都の貴族や僧侶、武士、庶民をそれぞれ象徴する場所として、「御所」「龍安寺」「二条城」「京の街」を取り上げ、国宝や重要文化財などの貴重な作品と、最新技術を駆使した映像で再現する。室町時代から江戸時代にかけて描かれた風俗画「洛中洛外図屏風」は、現在国宝・重要文化財に指定されている七点すべてを展示。更に4×4メートルの大型画面を利用してその緻密な描写に迫り、往時の都の賑わいを甦らせる。また、日本テレビ開局60周年記念事業ということで、最新技術の超高精細映像4Kにより撮影された龍安寺石庭映像を公開する。国宝・重要文化財の名品とともに、最新技術により制作された映像で“京都でも見られない京都”を再現する。（宮本ゆみ子）

10月8日～12月1日
東京国立博物館 平成館特別展示室
東京都台東区上野公園 13-9
www.ntv.co.jp/kyoto2013

（写真）
重文「洛中洛外図屏風 舟木本」左隻 2扇（部分）
岩佐又兵衛筆
江戸時代・17世紀
東京国立博物館蔵

大和に“やまとぢから”結集
やぶうち さとし
藪内佐斗司展「やまとぢから」

奈良県立美術館の開館40周年を記念して行われる、彫刻家・藪内佐斗司の展覧会。藪内は「生命の鎧」「童子」シリーズなどユーモラスな木彫作品で高く評価されていたが、2010年に平城遷都1300年祭公式キャラクター「せんとかん」を手がけ、また仮面舞踏団「平成伎楽団」のプロデュース

も行うなど、彫刻以外にも活動の幅を広げている。この展覧会では、「せんとかん」をはじめ、その仲間たちで構成される「平成伎楽団」、活力あふれる「童子」、そして藪内が修復を手がけた仏像も展示される。「やまとぢから」とは、祖先が遺した叡智と活力であり、次の時代を切り開くのに必要なものであると、藪内は語る。古代から続く日本の歴史をつくりあげてきた活力“やまとぢから”が、古都・奈良に結集する。(工藤索太郎)

10月19日～12月15日
奈良県奈良市登大路町10-6 奈良県立美術館
www.pref.nara.jp/11842.htm

(写真)
桃太郎白刃取り 2008年

交差から見える日本の今

六本木クロッシング 2013 展
アウト・オブ・ダウト—来たるべき風景のために

「六本木クロッシング」は、森美術館で3年に一度開催されるシリーズ展。ここでは複数のキュレーターにより選出された、日本の現代美術最前線の作品が「交差」する。

シリーズ初の外国人キュレーターを迎えた共同企画となる今回、参加するアーティストは約30組。1970～80年代生まれが中心だが、赤瀬川原平、中平卓馬など、戦後の前衛的な日本美術を牽引してきたアーティストの作品も同時に展示される。また、海外在住あるいは海外生まれの日系アーティストも積極的に紹介する。世代を超えた、そしてグローバルな視点から日本の現代美術を捉え直す。東日本大震災という未曾有の災害を受けた「日本の」作家たちは、現代を考え、未来を模索する。彼らの最前線を一望でき、日本の「今」がわかる、刺激的な展覧会である。(オオスキトモコ)

9月21日～2014年1月13日
森美術館
東京都港区六本木6-10-1

六本木ヒルズ森タワー 53F
www.mori.art.museum/eng

(写真)
高坂正人
「Return to Forever (Productopia)」2009年
ダンボール、木、プラスチック、MDF、アクリル、塗料、紙、ジュースの缶、テープ、不要になった製品包装
キュビズムとオーストラリア美術／ハイド近代美術館(メルボルン)での展示風景
写真=John Brash

風間サチコ
「噫(ああ)!怒涛の閉塞艦」2012年
木版画(パネル、和紙、墨)181×418cm
写真=宮島 径
Courtesy: Mujin-to Production, Tokyo

前衛的精神で描く今日の書 柿沼康二 書の道“ぱーっ”

伝統的な書の技術と前衛的な精神による独自のスタイルで、アーティストとして活動する書家、柿沼康二。国内外での個展やワークショップの開催など、多方面で活動し、テレビ番組、映画などの題字も多く手がけている。この展覧会は柿沼にとって過去最大規模で、現代美術を中心とする美術館では初の個展となる。新作、代表作、超大作、映像作品、インスタレーション作品など小品から巨大作品まで7つのスペースを利用し、約60点の作品を展示する。柿沼は書を「古典に立脚し、嘘偽りなく、今を生き生きと表現する」ものだという。柿沼の代表作による書を通じて、現代の視点から「今日における書」とは何か、「書における芸術性とは何か」を探る。(オオスキトモコ)

11月23日～2014年3月2日
金沢21世紀美術館 展覧会ゾーン
石川県金沢市広坂1-2-1

www.kanazawa21.jp/en

(写真)

柿沼康二《喰》(2011)と作家

写真=野瀬勝一

国宝のお茶室を購入可能!?

妙喜庵待庵 茶箱展

国宝、妙喜庵待庵。約400年前に千利休が作り上げた、現存最古のお茶室が、京都にある。その貴重な古材を用いて高野竹工が茶箱を作成し、セレクトショップ京にて展示・販売する。面白いのは箱の材だけではない。箱に入れるお茶道具を、デザイナーのコシノジュンコ、塗師の赤木明登など20に及ぶアーティストやメディアが自由に見立てて、それぞれの1点ものを販売するのだ。

家庭画報インターナショナルもその一員として、極細美術工芸家の森音広夢さんとコラボレートし、待庵そのもののミニチュアを作成する。中身に制約のない茶道具ゆえ他の作家群からも何が飛び出すかわからず、茶道ファン以外も注目だ。(編集部)

12月19日～1月20日

セレクトショップ京

京都府京都市東山区三十三間堂廻り 644-2

ハイアットリージェンシー 京都 ロビー内

www.selectshopkyo.com

(写真)

写真=田口葉子

「新しい工芸」銀座に集う

工芸都市高岡 2013 クラフトコンペ 【松屋銀座「東京展」】 AWARDS +

富山県高岡市で開催される「工芸都市高岡クラフトコンペティション」の入賞作品を展示する展覧会。同市は北陸地

方に位置し、鋳物産業で知られる伝統ある地方都市。全国から集まった力作と、全国から募集したデザイン画をもとに、高岡のメーカーや職人が製品化した作品が展示・予約販売される。このコンペでは、工芸作品を、家具デザイナーの小泉誠をはじめ、各界の第一線で活躍する審査員たちが、素材感を活かしつつも商品としての競争力も高い「ファクトリークラフト」と、工芸の領域を拡張する挑戦的な表現を求める「コンテンポラリークラフト」の2つの視点で選定する。高岡が考える「新しい工芸」を、東京・銀座で見られる貴重な機会となる。(オオスキトモコ)

10月10日～11月4日

松屋銀座 7F デザインギャラリー 1953

東京都中央区銀座 3-6-1 松屋銀座 7階

www.matsuya.com/foreigner/en/m_ginza/

(写真)

2012年ファクトリークラフト グランプリ受賞作品

マネキン「～hiraku～」(株) 道具×安井未星×尾崎迅

2012年コンテンポラリークラフト グランプリ受賞作品

「種種」大桃沙織

自然と人間との合作

瀬戸内国際芸術祭 2013

瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の複数の島を会場に行われるイベントである。海によってつながった24の国と地域から、約200点の作品が出品される。第2回となる今回は、人間の創り出すアートだけでなく、瀬戸内海の自然が生み出す季節ごとの美にも触れられるようにと、会期を春・夏・秋に分けているのが第1の特色。特色の第2は、アートが美術館に集められるのではなく、瀬戸内海の島々が美術館となり、アートそのものとなることだ。アートが瀬戸内海の自然、島に住む人々の生活と密接に結びつけられる。この芸術祭を観に行くことも、単に鑑賞にとどまらず、瀬戸内海の島々を

船で巡りながら、自然の一部となり、アートの一部となることなのだ。(工藤索太郎)

10月5日～11月4日

瀬戸内海の島+高松・宇野 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、本島、高見島、粟島、高松港・宇野港周辺
setouchi-artfest.jp

(写真)

島から島へ移動するフェリーも作品。

高見島 西山美なコ「新なぎさ号 キュート・アップ作戦」

エンタテインメント

文＝工藤素太郎、オオスキトモコ、宮本ゆみ子

p.124

**クラシックの名曲がジャズに
 山中千尋『モルト・カンタービレ』**

米バークリー音楽院でジャズを学び、首席で卒業した山中千尋が新作 CD をリリースし、コンサートツアーを行う。バークリー在学中からナンシー・ウィルソン、ジョージ・ベンソンらと共演を重ね、2001 年に CD デビューを果たした彼女がこれまで発表したアルバムは、すべて国内の JAZZ チャートで 1 位を獲得し、多くの賞に輝いている。今回の新作はアレンジャーとしても高い評価を得ている彼女が、自身のルーツであるクラシックをジャズにアレンジしたもの。モーツァルト「トルコ行進曲」やリスト「愛の夢 第 3 番」、ベートーヴェン「エリーゼのために」などおなじみの名曲を、ベン・ウィリアムス (b)、ジョン・デイヴィス (ds) とともにジャズナンバーに変貌させた。(宮本ゆみ子)

山中千尋ニューヨーク・トリオ

全国ホールツアー 2013～モルト・カンタービレ～

- 9月14日 サンケイホールブリーゼ (大阪)
- 9月16日 しらかわホール (名古屋)
- 9月17日 富山県民小劇場オルピス
- 9月19日 町田市民ホール (東京)
- 9月20日 紀尾井ホール (東京)
- 9月21日 静岡音楽館 AOI
- 9月22日 太田市新田文化会館 エアリスホール (群馬)
- 9月23日 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール (東京)

www.chihiroymannaka.com

『モルト・カンタービレ』(UCCJ-9128)

ユニバーサル ミュージック

**Sweetboxが福原美穂を起用
 Sweetbox『# Z21』**

全世界で 1000 万枚以上のセールスを記録した「Everything's Gonna Be Alright」等のヒットで知られるドイツのユニット Sweetbox が 7 月に、4 年ぶりのアルバム『# Z21』をリリースした。現在のメンバーは、エグゼクティブ・プロデューサー Heiko Schmidt とアンティグア出身のラッパー Logiq Pryce。彼らが 6 代目の女性ボーカリストとして初めてアジア人ヴォーカリスト、福原美穂を起用した。アルバムのリード曲となる「#Z21(ZEITGEIST21)」は、映画『2001 年宇宙の旅』のテーマとしても知られているリチャルト・シュトラウス「ツァラトゥストラはかく語りき」をサンプリングした楽曲。福原も自身の名義で聴かせる歌声とは違う一面を見せながら、大胆なボーカルを披露する。国境もジャンルも超えた音楽の魅力が発揮される。(宮本ゆみ子)

『# Z21』(SRCP-431)

ソニー・ミュージックレコーズ

sweetbox.com

**カンヌで大喝采
 そして父になる**

是枝裕和監督の『そして父になる』は、今年のカンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、審査員賞を受賞した作品である。ビジネスマンとして順調な人生を歩み、妻と 6 歳になる息子の 3 人家族を築いていた主人公・野々宮良多(福山雅治)は、息子・慶多の出生時に病院で取り違えがあったことを知る。6 年間育ててきた“息子”とのつながりは何なのか。家族とは何なのか。取り違えの相手家族との交流を通して、良多は苦しみながら、その答えを探し求める。カンヌでの公式上映では観客から 10 分間にわたるスタンディング・オベーションを受けた。家族の形は国や文化により多様だが、この映画で描かれる家族の情愛はその違

いを超える。(工藤素太郎)

『そして父になる』

9月24日～ 全国順次公開

配給：ギャガ

soshitechichininaru.gaga.ne.jp

(写真)

“ふたつの家族とふたりの息子”

© 2013 『そして父になる』製作委員会

中毒性のある耽美な世界観 ALI PROJECT『令嬢薔薇図鑑』

ALI PROJECT は、作詞＆ボーカルの宝野アリカと作曲＆編曲の片倉三起也によるユニット。1992年のメジャー・デビュー以来、枠に嵌らない音楽形態と、独特のビジュアルで人気を集めてきた。コンセプト重視の作品、クラシックの要素も取り入れた技巧的かつ芸術性を重視した楽曲、さらに宝野アリカの豊かな歌唱力やファッションなど芸術性の高さから海外からも評価が高い。また国内では、アニメ主題歌も数多く手掛けており、アニソンファンからの支持も高い。7月リリースのシングル「私の薔薇を喰みなさい」では明るくポップな曲調に彼らしい様式美を組み込むという意外性でインパクトを与えた。アルバム『令嬢薔薇図鑑』を携えての全国ツアーでは、観るものに更なる衝撃を与えてくれるだろう。(宮本ゆみ子)

『令嬢薔薇図鑑』(TKCU-73963)

9月11日発売 徳間ジャパン

TOUR 2013 『令嬢薔薇図鑑』顧客閲覧会

10月1日 福岡 DRUM Be-1

10月3日 大阪 BIG CAT

10月4日 名古屋ボトムライン

10月12日 渋谷公会堂

aliproject.jp

先端技術で美的感性を刺激 オープン・スペース 2013

現代のメディア環境における多様な表現をとりあげ、幅広い観客層に向けて紹介する展覧会。18組のアーティストによる作品は「見るだけ」の展示ではなく、鑑賞者の参加を求めてくる。たとえば「心音移入」(安藤英由樹+渡邊淳司+佐藤雅彦)は、鑑賞者が聴診器を自分の胸に当てると、映像の再生が始まる。緊張状態にある人々の映像を見ながら聞く自分の鼓動音は、映像に登場する人物の鼓動とシンクロするように感じられるだろう。また「マシュマロスコープ」(岩井俊雄)では、白いマシュマロのような形をしたオブジェについてのモニターを覗くと、周りの風景や人の形が歪んで映り、まるで時間が行きつ戻りつするように変化する。子どもから大人まで楽しめるエンタテインメントである。(オオスキトモコ)

～2014年3月2日

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 4階

www.ntticc.or.jp

(写真)

『心音移入』2010年

安藤英由樹+渡邊淳司+佐藤雅彦

©WATANABE junji

『マシュマロスコープ』2002年

岩井俊雄

写真= KIOKU Keizo

Courtesy: NTT INTERCOMMUNICATION CENTER [ICC]

伝説の宇宙海賊、30年ぶりに復活 アニメ映画『キャプテンハーロック』

『銀河鉄道999』『宇宙戦艦ヤマト』などのSF作品を生み出した漫画家の松本零士は、フランスをはじめ海外でも人気

が高い。2013年に画業60周年を迎えた彼の代表作の一つ『宇宙海賊キャプテンハーロック』が、およそ30年ぶりにアニメ化される。監督には『APPLESEED アップルシード』の荒牧伸志、脚本に『亡国のイーゴス』など実写アクション大作を生み出してきた福井晴敏など。声の出演にもトップクラスの俳優陣の他、アニメ界の顔ともいえる豪華キャストが集結した。東映アニメ史上最高額となる3000万ドルという総製作費をかけ、ダークでスケール感あふれる世界観を表現しながら、単なるCGにとどまらないスピーディーなアクションで見るものを惹き込んでゆく。(宮本ゆみ子)

9月7日～ 全国ロードショー
www.toei-anim.co.jp/herlock/

(写真)
©LEIJI MATSUMOTO/CAPTAIN HARLOCK Film Partners

伝統と現代の融合 杉本文楽『曾根崎心中』2013年ヨーロッパ公演

2011年8月に初演され、好評を博した『杉本文楽 曾根崎心中』が、この秋、ヨーロッパ公演を行う。「杉本文楽」は現代美術作家の杉本博司が、伝統芸能の文楽を、独自の解釈による新たな演出で上演するものである。今回の『曾根崎心中』は、近年発見された1703年の初演版台本を元に、現代では割愛されている「観音廻り」の場面を復活させた。杉本は、この場面をエロスと死という、洋の東西を問わず、300年の時を超える普遍的なテーマを描き出すもので、現代の上演に欠かせないと語る。衣装にはエルメススカーフを用い、人間国宝を含む第一級の顔ぶれが揃えられ、現代と伝統の視点が融合した「杉本文楽」の世界が舞台上に現れる。(工藤素太郎)

9月27日、28日 エスパニョール劇場(マドリッド)
10月4日、5日 アルジェンティーナ劇場(ローマ)

10月10日～19日 パリ市立劇場(パリ)
2014年3月21～23日 世田谷パブリックシアター(東京)
2014年3月29日、30日 フェスティバルホール(大阪)
sugimoto-bunraku.com

(写真)
人形: お初(右) 徳兵衛(左)
©Hiroshi Sugimoto/courtesy of Odawara Art Foundation

東京都内を弾丸公演 が〜まるちよば 東京 JACK

サイレントコメディ・デュオ、が〜まるちよばは、赤いモヒカンのケッチ!、黄色いモヒカンのHIRO-PONの2人組。1999年に結成されたコンビは、これまでに34ヶ国の、200を超えるフェスティバルなどから招待され、公演を行ってきた。グルジア語で「こんにちは」という意味の“が〜まるちよば”のパフォーマンスで使われる道具はトランク1つ。言葉を使わず、パントマイムの多彩な技術でストーリーを表現する。国外でも人気が高く、1年の半分は海外公演で過ごす。その彼らが、今年9月から11月までの3ヶ月間、活動拠点である東京都の約2188平方キロメートル、62ある市区町村を回る弾丸公演を行う。ホームに帰った彼らのパフォーマンスに注目したい。(工藤素太郎)

9月4日 ヤクルトホール
11月30日 渋谷公会堂
9月4日～11月30日までに東京都内49の市区町村で公演。残りの13市町村での公演も予定されている。
www.gamar-jack.com